



特集 その後どのように暮らしていますか？

## 「ちょうどいい」暮らし心地の家

特集 その後どのように暮らしていますか？

## 「ちょうどいい」暮らし心地の家

世田谷区 | マンションリフォーム | Y邸(ご夫婦+お子様1人)



1

### ストーリー

Y様ご家族がモデルルーム「あいばこ」を訪れたのは1年前の秋。ママ友から建築家伊礼智さんの書籍を紹介され、相羽建設を知ったことがご来場のきっかけでした。

当初は、お住まいだったマンションのリフォームをご検討中。そのマンションは元々ご主人が一人暮らしをされていたお部屋だったため、家族が増えたことで少しずつ物も多くなり、協力しながら収納の確保を試みるもののどうしても収まらない。また、床や壁も古くなり、暮らしにくさを感じている……とのご相談でした。それからしばらくして、同じマンションの大きな部屋(メゾネットタイプ)に空きが出たのをタイミングよく見つけたY様。「居間を広げたい。子ども部屋は確保してあげたい。じゃあここをリフォームして引っ越そう!」という計画になったのでした。

新しい生活がはじまって5ヶ月。現在の暮らしぶりをお伺いしました。



## 2

### 木のぬくもりのある空間

床は既存の木製フローリングにパイン無垢材を接着張り。廊下の扉はすべて、明るい色の建具に統一されていて、玄関を入ってすぐにやわらかな印象に包まれます。家族の共有スペースである居間は暖かく広々。奥様選りすぐりの小物やグリーン、北欧雑貨などがセンスよくしつらえてありました。リフォーム前は床暖房を使用していたというY様ですが、現在はなくても充分、とのこと。「ここ、全然違うんですよ」と奥様に案内され、無垢の床と以前のフローリングが残る階段を触り比べてみると、表面の暖かさの違いに改めてビックリしました。

収納可能な室内用物干し竿や可動式の照明用ペンダントサポーターなど工夫がいっぱいのY様のリフォームですが、一番の見どころは造作家具。天井まである大きな玄関収納や、洗面台、棚、キッチン。職人さんの手しごとで、幅も高さも物がすっきり収まるように作られています。以前は配膳できるくらいの小さな窓しかなかったというキッチンは、あえて仕切りを無くしたことで一体感が生まれ、広く感じるそうです。「ホントこれいいです！話をするのにのぞき込むのはちょっとさみしい。かといってアイランドキッチンにするほどではない。ある程度の仕切りがあるくらいがちょうどいいんですよ」とご主人。台所にいるときも家族の様子がよく見え、居間からもキッチンに立つ奥様の姿がよく見える……自然とコミュニケーションの取れる距離感が生まれています。

1: ダイニングスペース。2: 木の造作キッチン。3: 奥様のバイオリン演奏。4: お洒落な小物。5: 洗面スペース。







### 3 心地のよい変化



1、2：階段部分が金属の柵だった、リフォーム前のリビング。3：以前はダイニングとキッチンをつなぐ部分は小さな窓がただけだった。



使わないときは天井に収納できる室内用の物干し

#### 暮らしの工夫POINT

丸い天板を置けば机にもなるトランポリン



#### 木への興味

「以前の暮らしでは、家具も床も " 木 " という素材を意識して扱っていなかった」と振り返る奥様。今は無垢の木に触れ、蜜蝋ワックスなどでのお手入れを楽しんでいるそうです。年月と共に変化していく無垢材の面白さ。木の色がどう変わるか楽しみ、と笑顔でお話くださいました。

#### 暮らしやすさ

1階は奥様とお子様、地下のフロアをご主人の個室にと、住み分けをされているY様。思い入れのある品々が多いご主人のお部屋(奥様曰く「魔境」(笑))には、お仕事道具やご趣味のカメラ、本、CDなどがぎゅっとまとめられています。「欲しいものが全部手の届く範囲にあっていいんです」とご主人。奥様はリフォーム計画の中で物に対する考え方が変わったそうで、「ストックはどこに入れよう……」ではなく造作家具に収まるだけの物、それで充分だなど気づいたと言います。「以前は物の多さにイライラしてしまうこともありましたが、今ではスペースの取り合いが無くなり、気持ちも穏やかになりました」とニコリ。お互いの生活スタイルを尊重しあえるご夫婦の、バランスの良い関係がとても素敵です。



1:1階子ども部屋2:地下のご主人の個室。3:階段。4:1階と地下をつなぐテラス。手作り球エレベーターのある、息子さんの野球練習スペースとして活用。



#### 取材後記

時間や予算が限られる中で、やりたいことがクリアになっていったとお話されるY様。関わった相羽建設のスタッフや職人さんの仕事ぶりに対して「違った角度で支えてくださって有難かった」とのお言葉が嬉しかったです。また、一番最初にあいばこY様のご相談をお伺いさせていただいた私としても、その後のご家族の心豊かな暮らしを拝見できて幸せでした。今後もお客様の願いに寄り添うことを今一度、胸に刻みたいと思います。(記:あいばこ 五味)



設計・施工:相羽建設/撮影取材・編集:五味・新・吉川  
ainohaバックナンバー <http://aibaeco.co.jp/100story/life/>



ainoha

— アイバノコトノハ —



特集 その後どのように暮らしていますか？

シンプルに暮らすマンションリフォーム

take free  
ご自由にお持ち帰りください

2018\* March vol. 75



特集 その後どのように暮らしていますか？

# シンプルに暮らすマンションリフォーム

埼玉県和光市 | マンションリフォーム | 0邸(ご夫婦+お子様1人)



## 1

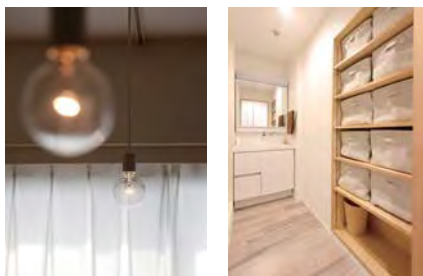
### ストーリー

今回訪ねたのはマンションリフォームをした、3人家族のO様の住まい。以前は職場から近い都内のマンションで暮らしていたご夫婦ですが、お子様が生まれたことをキッカケに住み替えを決意されました。

「最初は職場近くで一戸建てでも考えたんですが、都心だとなかなか良い土地が見つからなくて……。それなら子育てのためにも自然が多くて環境の良い、私の実家もあるこのマンションにしようって決めたんです」と奥様。「木の家にも憧れていましたが、それは老後の楽しみに(笑)。せっかくならマンションを木の家みたいにしようと思いました」とご主人。そんなお二人の想いからはじまったマンションリフォーム。住まいが完成してからちょうど1年が経つ、O様ご家族の現在の暮らしぶりを伺いました。

## 2

### 必要なものだけシンプルに



スッキリとした  
シンプルなインテリア

たくさんの造作収納で  
スッキリ収納。写真(下)  
はご主人が友人とデザ  
インしている、卵の殻を  
使ったプロダクト作品。



リビングとキッチンの間仕切り壁をなくしたワンルームへ

▲ 壁は漆喰、床は無垢のパイン材を使用

「子どもが遊べる広い空間」「ワークスペース」「明るいキッチン」「木の感じ」……など、O様の住まいのイメージがかたちとなったゆったりワンルーム。お子様が元気に遊びまわる姿を笑顔で見守るご夫婦の様子にこちらもほっこりします。さて、今回のリフォームはお子様の保育園入

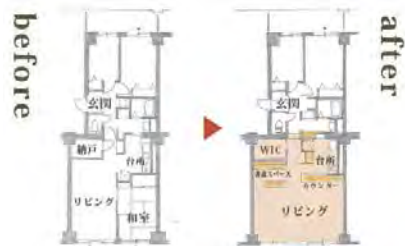
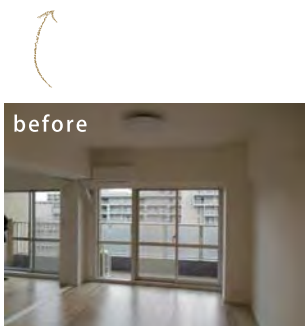
園が近づいていたこともあり、約2ヶ月という期間で行った工事でした。そのため、やりたいことを取捨選択しながらできるだけシンプルにし、リフォームにかかる費用を必要最低限に抑えたというO様。その分まだ手を加えていない余白も残してあるそうです。「実はリビングの照明は

どこにでもある普通の電球なんです。なかなか良いものが見つからなくて。気に入った照明に出会ったら付け替えようと思ってます」。その時にすべて揃えるのではなく、あせらずじっくり、お気に入りのものを取り入れながら暮らしをつくるO様のライフスタイル。素敵です。





### 3 マンションリフォームの工夫



マンションの床張り替え時にはここに注意!

集合住宅では管理規約で防音に関する規定が設けられていることが多く、なんでも良いというわけにはいきません。特に無垢材を張る場合には注意が必要です。

### 心地の良い無垢フローリングへ

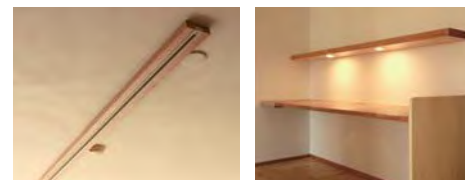
見晴らしが良くお日様の光たっぷりな明るい室内。もともとの間仕切りは撤去され、無垢床からの良い香りに包まれたひろびろリビングになりました。床が変わると住まいの雰囲気もがらりと変わります。O様のお住まいでは「二重床(置床)」という方法を選択しました。既存の床を残して工事を進めるので、音の問題も解決しやすく、今の床がクッション性のあるフローリングの時は特におすすめしている方法です。

### 床の高さが揃わない時は?

床の張替え時にでてくるのが「床の高さ」問題です。一部を張り替えると、張り替えしない他の場所と高さが合わなくなることも多いのですが、その場合は潔く区切るというのも一つの方法。コスト面と優先順位を確認しながら計画していきます。一段上がった先はリビングルーム。ご家族で一番長く過ごす場所を優先させました。



引き戸を半透明にすることで外からの自然な光が差し込み、明るい廊下となります。▶



### 好みの位置に照明を



造り付けのワークスペース。棚下に埋め込みのライティングを計画し、スッキリとした空間に。また、集合住宅では天井の裏にふところ(空間)が無い住まいも多く、照明の位置に困ることも。リフォームで生まれ変わった空間に合わせて照明の位置も変更したいところですが、照明は移動すると配線が丸見えに……。そこで好きな位置に照明器具をつけられるライティングレールを木で覆って設置。木の質感でステキな照明器具のようになりました。

### 取材後記

シンプルに住まうO様ご家族の暮らし。家の中のインテリア一つひとつが、どれを手にとってもおしゃれなものばかり! 本当に必要なところには手を入れつつ、他の部分は後からじっくり選んでいくというスタイルに素敵だなあと感じました。少しずつ手を加えられるリフォームの醍醐味を念頭に置きながら、改めて自分の条件に合わせてマンションが一戸建てかを考えてみるのも良いかもしれませんね。(記: 広報 吉川)



設計・施工: 相羽建設 / 建物概要: 鉄筋コンクリート造 / 工期: 約2か月  
撮影取材・編集: 伊藤・中村(葉)・吉川 ainoha/バックナンバー→<http://aibaeco.co.jp/photo/ainoha/ainohabackno/>







特集 その後どのように暮らしていますか？

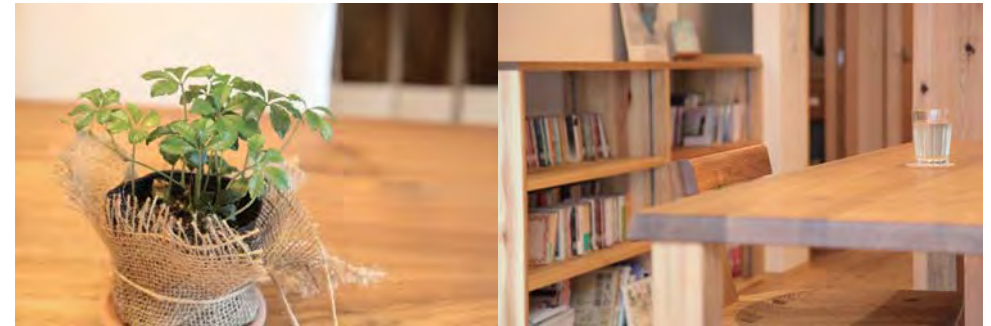
自分に合わせて暮らしをつくる



特集 その後どのように暮らしていますか？

# 自分に合わせて暮らしをつくる

杉並区 | T 邸 マンションリノベーション



## 1

### 家づくりストーリー

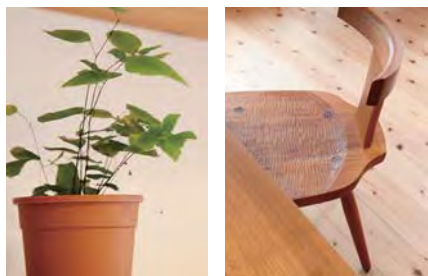
今回ご紹介させていただくのは、マンションをリノベーションしたお住まい。家のそばには川が流れ、川沿いの道をずっと歩いて行くと公園や緑地にもつながる、自然を身近に感じられる場所です。こちらに住みはじめてから半年ほど経つ T 様に暮らしぶりを伺いました。

以前は、転勤のため職場の近くで暮らしていたという T 様。しかしなかなか街に馴染めず、思い切って杉並区に引っ越してみたところ、環境の良さに心を動かされたそうです。「この街でずっと暮らしていきたい……」そう思い、周辺の物件を探している中で出会ったのがこのマンションでした。「モノや家を持ちたいという気持ちはもともと強い方ではなかったんです。でも、あと何十年と住み続けることを考えたら、賃貸ではない居心地の良い家で暮らしたいと思いました」。それから、T 様の暮らしに合わせたマンションリノベーション計画がスタートしました。



## 2

### 自分に合わせた家づくり



無垢の床に気持ちよさそうに寝ころぶ猫のシマちゃん



ダイニングテーブルとイスは埼玉県の家具作家さんがオニグルミの材を用いてつくったもの

T様がマンションの設計をしてくれる建築家さんを探していた時に会ったのが"いろは設計室"の橋垣さんでした。自然素材や、国産材にこだわった住まいにしたかったというT様は、橋垣さんの人柄や今まで手がけてきた無垢の家づくりを見て「良いな」と感じ、プランをお願いすることに。お話

をお聞きする中でT様が以前賃貸に住んでいた際、素材や間取り・水回りなどともとある家に自分を合わせることを少し不便に感じることもあったそうです。「リノベーションすることで自分に合わせられる家になりたい」そんなT様の希望を取り入れ、既存マンションの一室がより暮らしやすい

部屋へと生まれ変わりました。「無垢の床になって部屋も明るくなりましたし、気持ち良くてついゴロンとしちゃいます。広くなったキッチンのありがたさも感じます」とT様。取材中もお手製シロップジュースを頂き、まったり。今の暮らしをじっくりと楽しんでいる様子が伝わってきました。

【マンションリノベーション】

特集 その後どのように暮らしていますか？

## 風の通り抜けるリビング







## 家づくりのきっかけは？

暮らしはじめてから8年が経つ、マンションリノベーションをしたI様の住まいを訪ねました。周辺には公園や神社があったり大きな木々に囲まれた道があるなど、緑いっぱいの

気持ちの良い場所です。

「以前は、少し狭いけれど利便性の良い都心のマンションで暮らしていました。でも、子どもが生まれてから、ゆったりとした空間や風通しの良さも大事にしたいと考えるようになったんです。」と奥さま。「子育て環境に良い場所を」

と、家を探しはじめて出会ったのがこのマンション。立地も良く、この場所で暮らすことを決めました。当時築25年ほど経っていたことや間取りの変更、そして無垢の家に憧れていたというI様の希望で、自然素材を使ったマンションリノベーションがはじまったのです。

【マンションリノベーション】

特集 その後どのように暮らしていますか？

## 風の通り抜けるリビング

東京都練馬区 | I邸

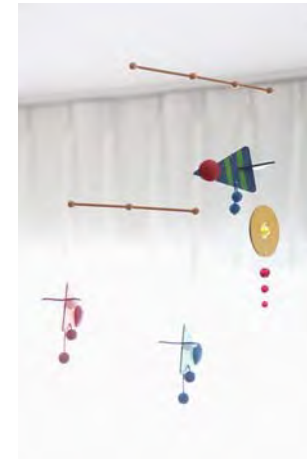
マンションリノベーション 3人家族(ご夫婦+子ども1人)





kitchen

お料理の大好きな奥様は、食材を決めるように、キッチンからつながる棚に置く小物選びも楽しんでます。



living room

「家は身の丈に合ったもの。よそゆきではないんです。」とにっこりする I 様ご夫婦。



## 家づくりエピソード

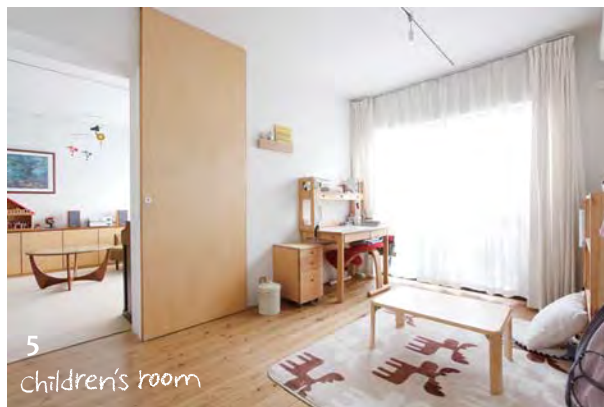
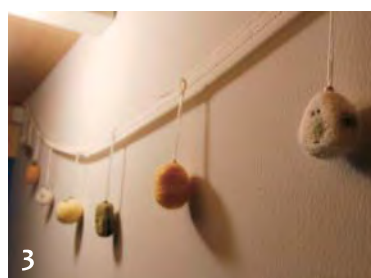
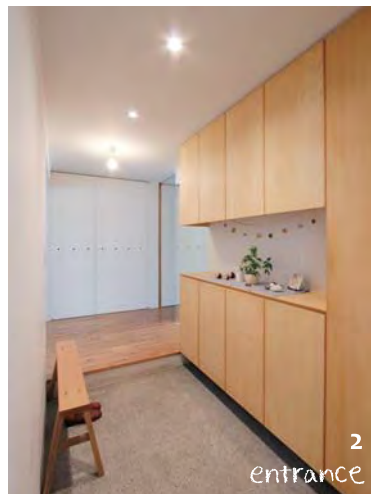
I 様の家の見どころは、なんといってもキッチン・ダイニング・リビングが横並びにつながる空間! 家づくり当初のお話を伺うと「昔の日本の家のように、ふすまを開けると大広間になっている……そんなイメージの大きくゆったりとした場所にしたいと思っていました。」と、ご主人。そ

で設計士さんと話し合い、もともと2つに分かれていた和室とリビングの壁をなくし、1つの空間にすることで、このゆったりLDKスペースができあがりました。「住み替えてからはいつでも友人を呼べるようになったのが嬉しいです。あとはやっぱり風通しの良さ。夏も快適に過ごせます。」

と笑顔の奥さま。取材中もカーテンがふわりと動いたたびに、外からとても心地の良い風が吹き抜けてきました。これから住み続けていく中で娘さんと一緒にインテリアを選んだり、メンテナンスも楽しんでやっていきたいという I 様。家族とともに少しずつかわっていく素敵な住まいです。



### 3 お部屋紹介



1. ちょっと作業したいときにこもれる書斎。 / 2-3. 洗い出し仕上げの玄関土間。棚に飾られているのは、奥さま手作りのフェルトの野菜たち。 / 4. 寝室にはちょこんと可愛らしいチェストやウォールシェルフ。右側はロールスクリーンになっています。 / 5. リビングとつながる子ども部屋。ほどよい距離感。

### 4 リフォームポイント

Before

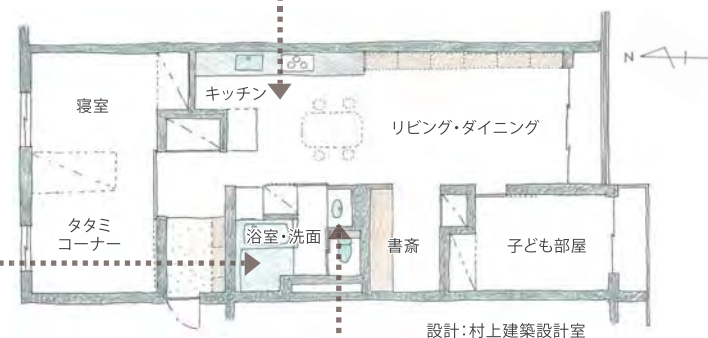
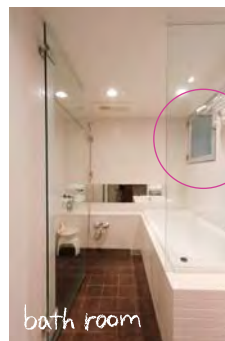


After



和室→キッチン

キッチンは設計士さんのオリジナルデザイン。壁面はステンレスではなく、強化ガラスを貼ることで、圧迫感の無いシンプルで美しい仕上がりとなりました。



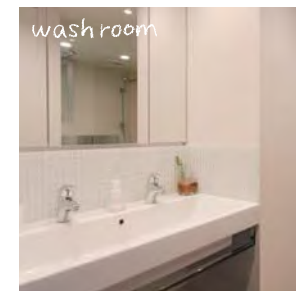
浴室の換気窓

浴室は外側に窓をつけられなかったため、内側に換気窓を設置。この小窓のおかげで湿気も解消されました。風通しの良さを追求したI様のアイデアです。

Before



After



洗面台プチリフォーム

取材の少し前にプチリフォームしたという洗面台の壁。もともと何もない真っ白な壁面でしたが、経年で塗装が剥がれてきたので「せっかくだら補修するなら雰囲気も変えてみよう!」と、透明タイルに貼り替えました。爽やかなデザイン。



「楽しい貴重なお時間をありがとうございました!」

取材: 伊藤 / 吉川 取材後記はコチラ → <http://ameblo.jp/ainohablog/>

ainoha 2015\*june-07

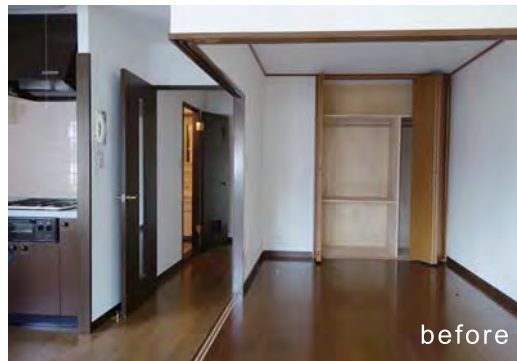
### 3 Before & After



キッチンともつながるリビング・ダイニング

#### ▲ リビング・ダイニング

以前の室内は茶色のフローリングとビニールクロスの壁でした。それを漆喰や無垢の杉材に替えることで、部屋全体が明るくあたたかい雰囲気になりました。T様がたくさん持っていた本は、大工さんがつくった大きな本棚に収めました。また、既存の窓にもう一枚窓を重ねることで断熱や防音効果を高めた部屋となっています。



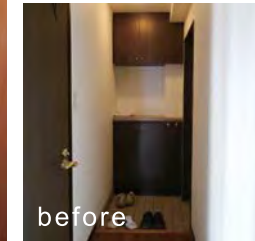
before



after

#### ◀ 玄関

周りに窓が無く、暗くなってしまいがちな廊下は壁に小窓を取り付けることによって隣の部屋からの



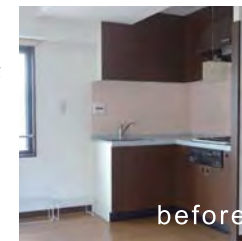
before

光が届き、明るくなりました。さらにリビングへ続く扉も半透明にすることでやわらかい光が玄関までひろがります。

#### キッチン ▶

壁向きに設置されていたキッチンは対面式のものに替え、窓の景色が見える場所に移動しました。

「広めのキッチンになって、品数の多い料理も作りやすくなりましたよ!」とお料理好きのT様も満足されていました。



before



after

#### 暮らしてみても...

ハイキングやジョギングなど体を動かすことが大好きなT様。「ここに住むことを決めてから、新しいことをはじめようという気持ちになりました。さっそく近所にあるホットヨガに通ってみたり、サーフィンをはじめたり」と、嬉しそうに話してくださいました。住みはじめてまだ数か月……これからさらに暮らしの楽しみがひろがっていきそうです。

#### 取材後記

お仕事の関係で、なかなか職人さんのいる時間に現場に行けなかったというT様。そのためいつも「監督さんや職人さんへ」と、メッセージ付きの差し入れを置いてくださっていたそうです。心のもったやりとりで心があたたかくなりました。家をつくる方も住む方も気持ち良いとても素敵な家づくりだったんだなあと感じました。(文:広報 吉川)



「楽しい貴重なお時間をありがとうございました!」

いろは設計室 → <http://iroha-design.com/>

取材:伊藤・吉川 取材後記はコチラ → <http://ameblo.jp/ainohablog/>





- 特集 -

その後、どのように暮らしていますか？

シンプルな暮らしの中  
お気に入りの生活道具。



その後、どのように暮らしていますか？

## シンプルな暮らしの中にお気に入りの生活道具。

「こんにちは〜!」と笑顔で迎えてくれた奥さま。住み始めてからちょうど1年、マンション購入からのリフォームをしたHさまの暮らしぶりを伺いました。



家具も食器も色が綺麗に統一されています。



奥さまが一目惚れしたというイギリス製のアンティークテーブル&チェア。クッション部分の革は、白から黒へ張り替えたそうです。味のある濃い色合いが、爽やかな白トーンの漆喰の空間をぎゅっと引き締めています。





お家の中へお邪魔させていただくと、玄関から続く廊下の先にはひらけたリビングとキッチン。ショールームのようにシンプルにまとまった室内に取材班一同うっとり……!笑

さて、お部屋の中を案内してもらっているうちにあることに気づきました。そういえば、コードがあまりないような?「コードがあるのが気になっちゃうんです」と奥さま。スタンド照明も太陽光発電式のコードレスのものだったり、炊飯器も使い終わったらコードをしまっておくそうです。スッキリ見せるための素晴らしい心がけ。「あと、なるべく物は持たないように。お店で良くなって思ったモノも、お部屋に置いた様子を想像をして、合わないときはあきらめます(笑)」とのこと。その分お家にあるのは、思い出のつまった家具や道具ばかりで、これは旅行先で、これは家族が、と一つひとつに対して楽しそうにお話してくださいました♪



←少し荒めに仕上げられた漆喰の壁は光を受けると陰影がとてもきれいに浮かび上がります。

「家族と近くで過ごせるように」とご主人の希望したリビングのPCデスク。コンパクトに畳めて、お部屋をスッキリ見せるポイントになっています。→



イギリス製のアンティーク家具「アーコール」の椅子。イギリスの小学校で使われていたものだそうです。形がオシャレですね!

### お気に入りのモノを見せていただきました



ゴールデントルボックス。背帯が金色になっているのが特徴。ニューヨークを旅行中に古本屋で見つけて一目ぼれ。



左:スナックセット。右上:ヨーグルトが入っていた小瓶。右下:チャーチプレート。友人がファイヤーキングのバイヤーで影響をうけて集めるようになったそうです。可愛い形は見るだけで幸せになりますね。



小物入れは、奥さまの好きなアルミ素材をセレクト。中にはCDやDVDが入っています。



「楽しい時間をありがとうございました!」

写真:伊藤/文:吉川 取材後記はコチラ→ <http://ameblo.jp/ainohablog/>